

藤沢

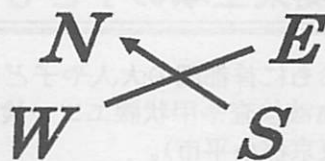
エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット

2013年10月1日

第233号



- 主 事
- ・国土を取り囲む巨大防潮堤と災害資本主義
 - ・関東全域の子どもたちに血液検査を!
 - ・武田薬品、監査報告書の補充を求め陳情
 - ・放射能測定値

・「我が家の地震対策」講座

http://members3.jcom.home.ne.jp/fujisawa_econet/

事務局 〒252-0816 藤沢市遠藤 849-9 青柳

☎/FAX 0466-87-4922

e-mail: aoyagipc@jcom.home.ne.jp

国土を取り囲む巨大防潮堤と災害資本主義

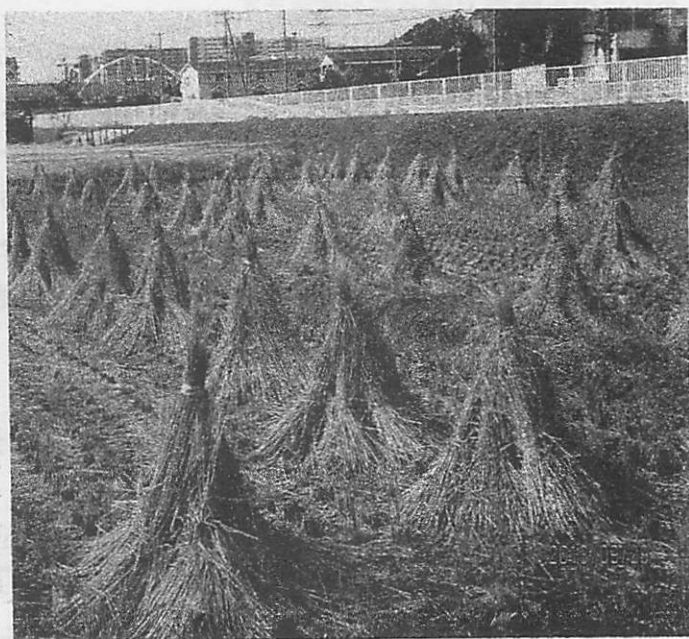
3・11巨大津波が、三陸～常磐沿岸を襲い、300kmの防潮堤のうち190kmが全半壊した。政府はこれを5年以内に「復旧」するとしている。しかし、計画を見ると、「復旧」ではなく巨大化や新設が目立つ。山が海に迫っている宮城県唐桑半島の只越地区では、高さ11.2m、底幅45mの防潮堤が作られる予定で、津波浸水域70,000m²に対して、防潮堤の敷地面積は17,000m²で、平地は6割しか残らず、山と堤防に挟まれた、くぼ地となる。陸からは海はまったく見えず、ただでさえ過疎地なのに、20年前に津波に襲われた奥尻島のように、住民はどんどん減っていくだろう。津波対応の手段は、防潮堤だけではないはずである。大切なのは、皆で知恵を出しあう地元の民主主義である。無人の地に耐用年数60-70年の巨大防潮堤だけが廃墟のように残ることになりかねない。防潮堤は、何を守るのだろうか。巨大防潮堤は、日本各地で計画されている。

大震災の後、米軍と自衛隊の対応は素早く、「トモダチ作戦」が展開され、米軍と自衛隊の評価は高まった。その間に、日米の財界は「復興」計画を急遽綿密に協議していた。新自由主義下の無国籍企業にとって、災害は大儲けのチャンスである。「創造的復興」の名の下に、宮城県では野村総研が「復興プラン」を作り、鹿島建設などのゼネコンが請負い、それを元自衛官の村井知事が政権をバックに強引に推進している。

このような、大災害に便乗して国際資本が計画的に利潤をあげる1990年代初めに始まったやりかたを、カナダのジャーナリストであるナオミ・クラインは、「ショック・ドクトリンー災害資本主義ー」(翻訳2011年岩波書店)と呼んだ。

2004年の大津波で、スリランカ東岸の漁村は一掃され、漁民の意に反して、跡地に国際観光ホテルが立ち並んだ。これも権力と結託して行われたのである。

川崎 健 (東北大学名誉教授)



稲刈りのあと (石川)

関東全域の子どもたちに血液検査を！

原発事故以降、おもに首都圏の大人や子ども合わせて、のべ1,500人の血液検査や甲状腺エコー検査を行ってきた三田医院（東京都小平市）。

事故から2年半経過しようとしている今、三田医院の三田茂院長に、血液検査の結果から見えてきたことをお聞きしました。三田医院では、2011年10月ごろから、「白血球分画」を含む血液検査と、甲状腺エコー検査を実施してきた。

白血球は、5種類の球（好中球、好酸球、好塩基球、単球、リンパ球）からできているのだが、その5種類の割合を調べるための検査を「白血球分画」と言う。放射線をたくさん浴びる仕事に携わっている人は、毎年「電離放射線健康診断」という検診を受けなければならないのが、その電離放射線健康診断の項目の中心が「白血球分画」で。

「白血球分画」を調べることで、人体が受けた放射線の影響がわかるそうであるが、関東地区の子どもたちの「白血球分画」の数値に変化が起きているそうだ。

三田医師は以下のように答えている。「当院に検査に訪れる子どもは、ほとんどが東京や千葉、神奈川、埼玉、北関東などのエリアに住んでいます。これらの子どもの白血球中の「好中球」の割合が、明らかに減少してきています。医者一般的な教科書であ

る「小児・思春期診療最新マニュアル」（日本医師会編）には、小学生の「好中球」の基準値は、3000～5000と記されています。つまり、3000が基準値の下限值なのですが、事故以降、当院に検査しにやってくる小学生の平均値は2500にまで下がってきているのです。」

4000くらいの値の子どもが最も多いのが正常なのだが、三田医院に検査に来る子どもたちの平均値は、下限値の3000を切って2500まで下がってしまっている。「これは、非常に問題ではないかと思います。」と彼は問題視している。

（文責 須藤）

無料講座

「減災」は、あなたが主役 講師を無料「出前」いたします

「我が家の地震対策」 あなたも簡単にできる自宅の安全空間作り

神奈川県コミュニティカレッジ講座（3月実施）のダイジェスト版です

町内会、防災会、その他企業や団体を問いません。10名以上、サークルでも結構。

あなたが主催者で講演会を開きます。

- 東日本大震災の失敗・成功例から得た地震対策のコツ。
- 「お金を掛けたけど、対策を間違えてた」「役に立った!!」違いは何?
- 日曜大工でじゅうぶん 使う部品は100円均一やホームセンターで
- すでにやってある対策も、簡単チェック&修正 効果アップ
- 自分ができること、業者さんへ頼むこと 上手に分けよう

ちょつとのコツで、地震対策が簡単・確実・お得に できます!

講座の所要時間は90分(1時間半)ほどです

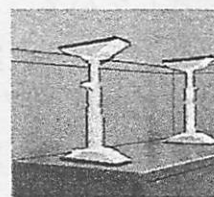
おもな内容

1. オリエンテーション
2. 家具転倒防止と工具
3. ガラス飛散防止
4. 冷蔵庫や器具の移動防止
5. 真っ暗闇でも避難できます

「我が家の地震対策」講座 講師出前のお申込みは

認定 NPO 法人 湘南ふじさわシニアネット 防災研究会

携帯電話 090-3316-0819 E-mail yan-age@mist.ocn.ne.jp (あげいし)へお申し込みください



ええっ!アレって役に立たないの?
簡単なコツで、立派に使えますよ

藤沢市議会に対する、「武田薬品遺伝子組換え排水漏えい事故の外部監査機関の 会社名の公表と報告書の公開を求める陳情」、不採択

9月6日藤沢市議会厚生環境常任委員会で、武田問題対策連絡会から提出された武田薬品の外部監査報告書の公開に関する陳情書が審議されました。今回から、陳情者も5分程度、陳情理由について発言することができるようになり、陳情者の発言も行われましたが、結果は、不採択となってしまいました。ネットの青木仁子議員、共産党の柳沢潤次議員が積極的に賛成の論陣を張って頂きましたが、他の会派の反対で採択されなかったものです。

せっかく、武田薬品と結んだ安全協定で、市民に対するリスクコミュニケーション、情報開示の条項が在りながら、この協定が活用されず、武田薬品と外部監査会社との間に非公開の契約があるので公開を求めることは出来ないとする藤沢市環境部の見解に、多くの議員が追従した結果、こうした不採択をもたらした要因と言うことが出来ます。市議会に提出された陳情書は、下記の通りです。

〈陳情項目〉

- 1 監査を実施した外部専門機関の会社名の公表
- 2 外部専門機関の総評全文の公開

陳情者 武田問題対策連絡会

〈陳情理由〉

1、1の項目について、6月11日の厚生環境常任委員会において、説明に出席した武田薬品工業の担当者は、議員の質問に対し、「外部機関との約束で公表できない」と回答しておりました。しかし、市当局が2011年12月15日に武田薬品に求めたのは外部専門機関による監査であり、武田薬品が今回の報告書で書いているような自主的な安全評価（アセスメント）ではありません。武田薬品は「自主的に外部専門機関によるアセスをやったのだから名前を公表する必要は無い」等と言っていますが、市の要請に應えて実施したのが今回の監査であり、実施した外部専門機関の名前を監査報告書に記載しない等という秘密主義は許されません。

藤沢市と武田薬品が結んだ安全協定の精神からしても、情報は公開されるべきであり、武田薬品はよくても外部調査機関が企業名の公表を拒否するというなら、公表可能な別の外部調査機関による監査のやり直しを要請すべきです。

2、2の項目について、外部専門機関による①～⑤までの総評は、原文のままとなっていますが、この総評は結論だけで、根拠についてはほとんど記載されていません。

総評②の「湘南研究所の設備は、他社の研究開発設備と比較しても最先端の仕様となっており、国際的な他の製薬、科学メーカーと比較しても、管理レベルは高い」と評価しているだけで、根拠は示されていません。

また、総評③の「湘南研究所の設備は、設備機器的な観点からは標準的な設計となっており、同様の業界における一般的な事例から逸脱する設備・機器は存在していない。（集中滅菌装置、排気・排水処理設備等）」と評価していますが、これまた、根拠等については記載されていません。

武田薬品が原文のままとして記載したのは結論の部分だけで、根拠に関する部分は割愛されているものと推定されます。判断の根拠を知ることが、本報告書に於いては、極めて重要な事であり、武田薬品湘南研究所の真の安全性を確認するには、総評全文の添付が不可欠と考えます。

（武田問題対策連絡会 小林麻須男）



第46回 みんなの消費生活展

～いのち、被災地のあの時、今、そしてこれから～
9月7日～8日 湘南台公民館で行われました。
宮古市重茂漁協婦人部長盛合さんのトークは津波の映像を交えて改めて怖さを感じました。被災地支援の料理試食、それぞれの展示ブースや〇×クイズなどで賑わいました。

放射能測定値

湘南地域ほかの屋内を調べました。

測定 (HORIBA Radi) 単位 ($\mu\text{Sv/h}$)

測定日 9月8日～27日

湘南台公民館地下2F 体育室 0.052 (9/8)

遠藤木造家屋内1F 0.023 (9/8)

湘南徳州会病院内1F (辻堂) 0.042 (9/10)

藤沢南口ビル事務所内2F 0.056 (9/11)

湘南わかば苑内1F (石川) 0.042 (9/14)

鎌倉商工会議所内2F 0.026 (9/15)

北鎌倉駅電車内 0.021 (9/15)

藤沢市民活動推進センター内2F 0.046 (9/16)

遠藤羽根沢団地 1階入り口 0.052 (9/20)

遠藤羽根沢団地 5階室内 0.068 (9/20)

慶応大学日吉校舎室内3F 0.038 (9/27)

東横線日吉駅構内 0.043 (9/27)

(藤沢市除染基準は 0.19 以上)

ECONET INFORMATION

第18回ふじさわ環境フェア

～自然ある未来へ！ 藤沢 Eco²まつり～

日時：11月23日 (土祝) 10:00 から

場所：明治市民センター (辻堂駅から徒歩5分)

展示 発表 クイズラリー 包丁研ぎほか

お誘い合わせてご参加ください。主催：藤沢市

学習会「考えよう南海トラフ巨大地震と藤沢」

講師「地震と津波」林弘文氏 (静岡大名誉教授)

「津波被害」岩淵孝氏 (秋田大学元教授)

11月4日 (休月) 14:00～

市民会館第1展示ホール

主催／湘南のなぎさを守る藤沢市民の会

ECONET INFORMATION

学習会「原発被害の状況」

お話し：須藤百合子さん

10月9日 (水) 18:30～21:00

市民活動推進センター

講演会「チェルノブイリの現実と福島」

講師 吉田由布子さん (福島在住)

11月16日 (土) 18:30 辻堂図書館ホール

主催 福島の子どもたちとともに・湘南の会

★NO NUKES DAY 原発ゼロ★

日比谷公会堂集会ーデモー国会前集会

10月13日 (日) 13:00-19:00

主催／首都圏反原発連合 共催／さよなら原発

1000万人アクション 原発をなくす全国連絡会

イマジン湘南まつり LOVEデモ

福島の子どもたちと餅つき ステージではトーク

食べ物ブース 展示即売ブースあり

10/14 (祝) 10時～ 遊行寺にて

鎌人いち場 10/19 (土) 9～16

知る食べる売る交わるつながる市場へどうぞ

場所 鎌倉海浜公園 由比ヶ浜主催：実行委員会

藤沢エコネットから

前号の記事に誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。
4ページ、放射能測定の7行目から 南相馬市原町駅前→南相馬市原ノ町駅前 南相馬小高区公園→南相馬原町区 小高区道の駅→南相馬道の駅 芝生の上→道の駅芝生の上 に訂正します

事務局会議 10月16日 (水) 14:00～

推進センター



《編集後記》今年の中秋の名月はきれいだった。秋を見つけにおにぎりを持って出かけた。栗、柿など果物が美味しい収穫の秋でもある。日本がTPP交渉に参加し秘密に行われる交渉で農産物が守れるか心配である。遺伝子組み換え食品や残留農薬の危険性も心配である。田んぼや畑のある風景を残さなければいけない。(H)